

令和2年度 授業改善に関するカリキュラム・マネジメントリーダー研修 成果報告書

校長・准校長サイン

名前

学校名 府立鳳高等学校

名前

1 学校教育目標（めざす生徒像）

- ・夢・志の実現に向かって粘り強く挑戦できる生徒
- ・解決すべき課題にしっかりと取り組むことができる生徒
- ・主体性をもって多様な人々と協働できる生徒

2 令和2年度の校内研究の取組み

(1) 研究テーマ及び設定理由

①研究テーマ

観点別学習状況評価の観点のうち、特に「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を育成する授業とその評価方法の研究。

②テーマ設定理由

令和3年度からの観点別学習状況の評価の試行実施、令和4年度からの新学習指導要領実施に向けた校内の準備。特に本校では、「知識・技能」の育成中心になっているため、「思考力・判断力・表現力等」を育成するための授業改善・評価方法の改善が必要であると考え、このテーマで研究を行うことにした。

(2) 校内研究の取組みについて

①研究の基本的な考え方・全教職員で共通理解したこと（明確化した今年度のポイント）

校内プロジェクトチームを中心に、いくつかの教科、科目の単元で、鳳高校としての観点別評価の具体的な実施モデルを試行し、それを起点に全教科、科目に取り組みを広げていくこと。

②具体的な取組み

(ア) パッケージ研修支援（国語科・公民科）

研究授業・研究協議の実施、観点別の考査問題・提出物のフォーマット等を作成・試行した。また、各教科においても観点別学習状況の評価を試行し、全体会を2度開催して全体で情報共有するとともに、指導主事からの指導・助言を受けた。

(イ) 中学校訪問

すでに観点別学習状況の評価を実施している府内中学校2校を訪問し、国語、社会、数学、理科、英語の授業を見学後、評価課題及び判断基準の設定等について中学校教員とともに研究協議を行った。観点別学習状況の評価に係る内容だけにとどまらず、中学校から高校への学習の連続性についても学ぶ機会となった。

(ウ) 校内プロジェクトチームによる試行・研究

「思考力・判断力・表現力」を育成する授業とその評価の試行や、定期考査を観点別に分析した。また、その成果や(ア)(イ)の事例研究・共有を行った。

③取組みの検証方法

(ア) 生徒の行動観察や成果物、振り返りシートの記述

(イ) 研究授業を実施した教員の成果報告

(ウ) その他、プロジェクトチームのレポート、教員対象のアンケートなど

3 取組みの検証

(1) 校内研究の成果

(ア) 各教科の学習活動

各教科で「思考力・判断力・表現力」を育成する学習活動のイメージができた。ただし、評価規準・基準の作成についてはさらなる研究が必要である。

(イ) 考査問題

これまで作成してきた考査問題の中にも「思考力・判断力・表現力」を評価できる問題が十分にあることがわかったが、これらの問題には多くの生徒が無回答のものも含まれ、正答率にもバラつきがあった。観点別評価を実施することを目的に出題するためには工夫や改善が必要である。

(ウ) 教員の意欲

試行・研究を通して、教員間で「めざす生徒の姿」や「学習活動・評価」について話し合う機会が増えた。

(2) 生徒の変容（授業改善により生徒にどのような育ちが見られるか）

「思考力・判断力・表現力」を育成するために、話し合い活動やパフォーマンス課題を取り入れた授業における生徒の行動観察から、次のような姿が見られた。

- ・生徒が課題解決に向けて、積極的にワークに取り組んでいた。
- ・登場人物の心情についてより深く考えようとする姿勢が見られた。
- ・自ら答えを導きだそうと考える姿勢が見られた。
- ・自主的に既習内容を復習する姿勢がみられた。
- ・他者に自分の意見をわかりやすく伝えようとしていた。
- ・他者の意見を聞き、気づきを得たり自分の意見を振り返ったりする姿勢が見られた。
- ・他者の意見を聞き、協力して答えを出そうとしていた。

また、振り返りシートの記述からも、異なる視点から考えたり、力を合わせたり、交流したりして協働的に学ぶことで、より思考が深まっていたことがわかる。

- ・自分とは違う考えを聞いたことで、自分の考え方が少し変わった。
- ・たくさんの意見を聞くことは現文ならではの面白みが引き出せるのではないかと考えた。
- ・いろいろな見方・考え方・とらえ方ができるので意見交流は大切だと改めて思った。

(3) 教員の変容（授業改善により教員が何を学んだか・どんな感想をもったか）

【1年生 国語総合】

講義型では見られないような自ら考えようとする生徒を見ることができた。授業のねらいと取り組むべき課題を設定しただけであるが、生徒は自分の考えを深めようと主体的に取り組んでいたように思う。授業後、「今日の授業はレベルが高かった！」と生徒に言われた。抽象的な表現だが、「いつもよりも思考することが求められる授業だった」ということだろう。研究授業は学期を通してどのような力を身につけさせたいのか、またそれらの力をつけるにはどのような授業が望ましいのかということをし少し立ち止まって考える機会であり、自分の力不足を認識する機会でもあった。

【3年生 倫理】

「思考・判断・表現力」を問う課題を設定したことによって、生徒が積極的にワークに取り組んでいた。生徒のさまざまな発想を引き出せたと思う。既習内容を互いに復習し、自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見を傾聴する姿も見られた。授業改善前よりも、主体的に学習に取り組む姿が見られた。生徒もやりがいを感じていた。

他にも、「評価について考えることで、授業の在り方を考え直す機会になった」、「『思考力、判断力、表現力等』を見取るための定期考査の問題を教科会などで検討してみたい」など、教員の授業や定期考査に対する意識の変容が見られた。

4 今後に向けて

(1) 今年度の課題

評価の「妥当性」に次のような課題が見つかった。

- ・事前に設定していた評価基準では、担当者間で評価が揺れる場合がある。
 - ・同じ内容の授業でも、クラスによって説明の仕方や生徒への指導の手立てを変えるなど、後で行った授業の方が、内容が洗練され生徒の思考が深まることもある。その場合も同じ評価基準でよいのか。
 - ・グループワークを経て成果物を評価する際、生徒一人ひとりの思考力・判断力・表現力を評価していることになるのか判断がつかない。
- また、講義型の授業と定期考査だけでは全観点の評価は不可能で、生徒に発表させたり、レポート等の成果物を作成させたりする必要がある。これらの学習活動を行う時間

を確保するために、指導内容の精選等も考えなければならない。そのためにも、授業の年間計画を考えるときに「どの場面でどの観点を評価するのか」「そのためにどのような学習活動を設定するのか」を明確にし、事前に単元目標と評価規準・基準を教科等でよく話し合うことが重要だろう。

(2) 次年度に向けて

(ア) 「主体的に学習に取り組む態度」

今年度は3観点の中でも「思考力・判断力・表現力」に関する授業・評価の研究が中心になったため、次年度は「思考力・判断力・表現力」に関する授業・評価の研究も続けながら、「主体的に学習に取り組む態度」の研究も行う。

(イ) 研究授業（国語科・公民科以外の教科）

より多くの教科で、指導主事の指導・助言を受けながら、研究授業の実施、観点別の考査問題・提出物のフォーマット等を作成する。

(ウ) 学校全体で試行・研究

令和4年度の新学習指導要領実施に向けて、令和3年度はプロジェクトチームを中心に学校全体へ試行・研究の輪を広げる必要がある。

令和2年度 校内研修年間実施報告

1 令和2年度の目標(テーマ・主題)

観点別学習状況評価の観点のうち、特に「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を育成する授業とその評価方法の研究

2 実施日・内容等

月	日	校内研究の実際	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
9	29	第1回プロジェクト会議 ・メンバー顔合わせ ・校内スケジュールの確認	
10	7	アンケート調査→	パッケージ研修 全体研修「観点別学習状況の評価と授業づくり」
	13	第2回プロジェクト会議 ・アンケート調査分析 ・年内のスケジュール確認 (1) 試行①を各教科で実施 (2) 中学校訪問・授業見学 (3) 第4 考査の問題を観点別に分析 ⇒第3回で情報共有	←プロジェクトチーム以外からも有志を募る
10 ~11		試行①「思考力・判断力・表現力」を育成する学習活動とその評価	
11	20	和泉市立中学校訪問・授業見学	中学校訪問・授業見学
	25	研究授業(倫理)・研究協議	パッケージ研修
	27	研究授業(国語総合)・研究協議	研究授業・研究協議
12	17	堺市立中学校訪問・授業見学 ・情報共有 ・提出物のフォーマット等の研究 ・試行①へ活かせる点を検討	中学校訪問・授業見学
	中	第4 考査問題分析	
	25	第3回プロジェクト会議 ・研究授業や研究協議を踏まえて ・試行①・考査問題分析の 成果の確認・反省	

令和3年度 校内研修年間計画

1 令和3年度の目標(テーマ・主題)

令和4年度の新学習指導要領実施に向けた、観点別学習状況評価の観点のうち、特に「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を育成する授業とその評価方法の研究

2 年間予定

月	日	校 内 研 究 計 画	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
4	1		職員会議 「令和2年度研究のまとめ」配布 PTメンバー募集
	7	第1回プロジェクト会議 ・メンバー顔合わせ ・今年度の目標の確認 ①各教科での授業と評価の試行 ②令和4年度入学生1年次のシラバスの作成 ③内規の整備 ④学期末に観点別学習状況の評価を総括する(A~C)試行 ⑤学年末に評定(1~5)を総括する試行	職員会議 PTメンバー決定のお知らせ
5	中		パッケージ研修 ・令和3年度試行について (令和3年度中の目標など)
6	中	第2回プロジェクト会議 ・1学期試行の中間報告 (第1 考査分析含む)	教務部 ・ <u>教務内規変更案①の作成</u>
7	下	第3回プロジェクト会議 ・1学期の試行のまとめ・共有 ・2学期の試行に向けて ・ <u>教務内規変更案①の検討</u>	
8	中		職員会議 ▶ <u>教務内規変更案①の検討</u> ・1学期の試行の成果報告

8	下		パッケージ研修 ・ 1学期の試行や <u>校内ルールの整備</u> <u>について助言</u>
10	中	第4回プロジェクト会議 ・ 2学期試行の中間報告 (第3 考査分析含む)	教務部 ・ <u>教務内規変更案②の作成</u>
12	中	第5回プロジェクト会議 ・ 2学期の試行のまとめ・共有 ・ <u>教務内規変更案②の検討</u> ・ 3学期の試行に向けて ・ 今年度のまとめに向けて	
12	下		職員会議 ・ <u>教務内規変更案②の検討</u>
1	下		教務部 ・ <u>教務内規(案)の作成</u>
2	上	第6回プロジェクト会議 ・ <u>教務内規(案)の最終確認</u> ・ 「研究のまとめ」作成	職員会議 ・ <u>教務内規(案)の提示</u> ⇒ <u>教務内規の決定</u>
2	下	第7回プロジェクト会議 ・ 今年度のまとめ ・ 来年度からの新学習指導要領実施に 向けて	パッケージ研修 ・ 今年度のまとめ ・ 来年度からの新学習指導要領実施 に向けて 職員会議 ・ 「研究のまとめ」配布